


県名: 北海道ブロック
 報告日: 2021年3月30日
 報告者: 高田 知明

1. 都道府県青年部の活動報告

都道府県名	年月日	活動報告
北海道	2021.3.26	<p>令和2年度第2回例会(全構協助成金事業として) 場所: センチュリーロイヤルホテルにて 17社17名出席 時間: 12時～15時頃</p> <p>事業内容 ①全青会報告 ②各社近況報告 ③リモート製品検査勉強会</p> <p>リモート製品検査について、会員で実際に行ったことのある北栄興業(株)高田知明氏より、リモート製品検査の流れや、注意点、デメリット等を講義してもらった。 会場についてはソーシャルディスタンスを保った状態での開催となり、昼食を取った後、開始。午後3時頃解散になった。 各会員にアルコール消毒液を配布し、新型コロナウイルスの感染拡大を呼び掛けた。 また、1年以上集合形式の例会を行っていなかったこともあり、各会員の近況報告を一人ずつ行った。</p>  

2. ブロックの活動報告

年月日	内容
	上記と同じ

3. 構造設計者との交流活動の状況報告(各府県で実績があれば記入願います。)

年月日	内容

4. その他(近況報告・市況等)

府県名	内容
北海道	<p>山積みはそれぞれで、Hグレードで2～9か月の間で推移している。MRは1～3か月のところが多い。状況はあまり変わっておらず、鋼材価格が値上がりし続けており、見積が難しい局面になってきている。コロナの影響で延期や不調等、きまりが悪い部分も多く、先行きが不安との声も。見積件数は例年よりも少なく感じる。</p> <p>久しぶりに集合形式で例会が開催できた。各社青年部の仲間がどのような状況の中で仕事をしているか等、近況報告をしあえたのが良かった。リモート製品検査についてはこれから活用していく場面が増えていきそうということもあり、興味のある人も多かった。今後はソーシャルディスタンスに配慮しながら、例会を開催できる体制がとれるようになっていければいいと思う。まずは新型コロナウイルス感染拡大の前の状況に戻していきたいところである。</p> <p>※この報告書は全国配信しますの個人情報や誤報となるものの記載はお控えください。</p>